

院長コラム



クリニックの2階から撮った虹の写真です。気象庁のHPでは「虹は太陽光が空気

中の水滴で、屈折（折れ曲がる）・反射（はね返る）して起きる現象」と述べられています。自然現象である虹をじっくりと眺めて、本当にくっきりと七色に分かれているのかといった疑問が生じたことはないでしょうか。そんなことが頭に浮かべばかなりの学者

肌の方です。私にとって七色の虹といえば、幼い頃のお絵かきの定番でしたし、大人になるまで虹は七色だと信じ、疑ったことはありませんでした。ところが、最近こんな事実を知ったのです。この自然現象を七色と捉えるのは、日本の認識で、国によって何色に認識されているかは違うということ。アメリカでは六色、ドイツでは五色のようで、日本より多い八色、極端な国では二色といったこともあるようです。それぞれの国の文化の違いが、この自然現象に対する色の認識に影響しているようです。 院長 茶堂 宏

新型コロナ感染予防のための小児のマスク着用について

今回は新型コロナ感染におけるマスクの着用についてお話しします。

新型コロナ感染についてスーパーコンピューター「富岳」を用いたマスクに関する2つのシミュレーション結果が報告されています。

1つ目は、感染者とマスクをせずに会話をしたケースを想定したものです。「マスクなしの感染者が、1メートルの距離で15分間会話すると、感染確率は平均60%程度、最大で90%を上回った。マスクなしの感染者が10人と会話すれば、平均で6人に広げてしまうことになる。一方、感染者が不織布マスクをした場合、会話する距離が50センチだと、最大10%ほど、25センチだと最大30%ほどだった。1メートル以上離れると、ほとんどリスクはなかった。（以上オミクロン株での想定）」

2つ目は、感染予防を目的に不織布マスクをつけた際の効果について想定したものです。「不織布マスクを着け、マスクと顔に隙間があっても、マスクを着けることで、上気道に入るウイルス飛沫数を3分の1に

することができ、特に大きな飛沫については侵入をブロックする効果が高い。」

2つの結果から、新型コロナ感染予防の為のマスクの重要性が分かります。

ところで、小児の感染防止対策における現在のマスクの位置付けはどうか。政府の新型コロナ対策分科会の当初案では「2歳以上の児童は可能な範囲でマスク着用」とされていました。ところが、分科会で「2歳以上」と明記することに反対意見が出たため、最終的に「発育状況などからマスクの着用が無理なく可能と判断される児童については可能な範囲でマスク着用を推奨」といった表現に落ち着きました。「**うつさない**」、「**うつらない**」ために**マスクの着用は重要ですが、「小児においてマスク着用の明確な年齢基準はない**」ということになります。

院長 茶堂 宏



✂ ヘアドネーションしました ✂

ヘアドネーションはアメリカで始まった慈善活動です。寄付された毛髪で医療用ウィッグを作り、そのウィッグは18歳以下の小児がんや事故が原因で頭髪に悩みを抱えるお子さんのもとに届けられます。日本では2009年からこの活動が始まりました。

私はニュースでこの活動を知り、お子さんの役に立ち、少しでもお子さんが笑顔になれる手助けが出来たらなと思い、ヘアドネーションすることにしました。30 cmほど切り、とても軽くなりました♪(丸山)



スマイル ダイアリー

今年の干支にちなんだ注射絆を書いてみました。注射後に泣いていたお子さんが、この注射絆を貼るとすぐに腕を見て泣き止み「トラだ！」と言って喜んでいました。強いトラに負けないように元気に一年過ごしたいですね。(古谷)



✧ 小月駅前、綺麗でした ✧

毎年冬の仕事終わりに見える綺麗な景色です。見る位置によって違う綺麗さを感じとても心が癒されました。来年の冬も楽しみです。(中野)



ゲームの好きなK君が、ゲームのキャラクターを書いてくれました☆

Kくん・5歳

👦👧 おすすめの本の紹介 👦👧

コントラストの強い配色や、目や口のある顔は赤ちゃんの目を引きます。この本は赤ちゃんの特性に合わせたかわいい絵本です。先日5ヶ月くらいのお子さんもお母さんに読んでもらいながらじーっと絵本を見ていました。初めての絵本にぴったりです。(城山)

「しましまぐるぐる」
え かしわらあきお
株式会社学研教育出版



編集後記



マスク生活も長くなり、相手のマスクを着けた顔しか知らないという方も増えてきました。早くマスクなしでも安心して会えるようになればいいなと思います。(城山)